

優良現場の紹介

1. 表彰年度：2021 年度
2. 事業場名：五洋建設株式会社東京土木支店
東西線九段下改良土木工事事務所
3. 工事名：東西線飯田橋・九段下間折返し設備設置 九段下工区改良土木工事
4. 発注者名：東京地下鉄株式会社

5. 工事概要：東西線列車増発のため、引き上げ線設備を改良し本線化する工事である。
6. 埋設管状況：ガス管（φ100～φ300）
水道管（φ250）
下水管（φ1200）
NTT管（φ100）
東電管（φ130）

施工場所：東京都千代田区飯田橋一丁目



7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 重点工種は事前に支店へ施工計画を提出し、施工検討会を実施している。店社パトロールの際の埋設の確認・点検・是正等記録が保管され、店社現場一体となった埋設事故防止の取組みが行われている。
- 2) 埋設企業者とは事前協議を重ね、試掘により当初埋設図との相違を慎重に調査し、詳細な仮設計画を行うことで埋設事故リスクの低減に努めている。埋設企業者との近接施工時の立会を確実に実施している。指導事項は直ちに是正後、随時記録・保管・発注者への報告を行っている。緊急連絡時連絡先も全員が携帯している。
- 3) 吊り防護は協議書通りに施工されており、各受桁も水平に管理されている。吊具のグリスアップも実施されており、入念に維持管理がなされている。受桁には蛍光リボンを設置し注意喚起されているかつ、各企業者の緊急連絡先が、わかりやすく明示されている。
- 4) 吊防護が広範囲にわたり受桁数量も多いため、番号札管理ではなく覆工桁番号による覆工桁位置と各受桁の現況平面位置が反映された図面で管理されているため、是正箇所の共有が迅速に行える体制が整っている。職員が現場巡回点検チェックリストを元に毎日点検を実施し、点検結果を記録している。
- 5) 日常作業打合せは埋設図を反映した図面を使用しており、現地 KY 時には埋設管路位置を現地にマーキングし見える化を行い、作業従事者全員に周知後施工を開始している。